

記者発表資料
令和5年6月28日

所 属	大垣市建設部治水課
担 当	課長：長谷川 主幹：廣島
連絡先	0584-47-7850

ワンコイン浸水センサ実証実験について

1 目的・趣旨

近年、大雨による浸水被害や河川の氾濫が頻発しており、面的に浸水の状況をいち早く把握し、迅速な災害対応を行うことが重要となっている。

本市では、夜間や暴風雨時でもセンサを用いてリアルタイムに浸水状況を把握する仕組みの構築に向けて国土交通省が実施する実証実験に参加（岐阜県内の市町村としては初）し、国と協力して、機器の特性や災害時の情報共有の有効性等を検証するもの。

2 ワンコイン浸水センサについて

小型で長寿命かつ低コストのセンサ（太平洋工業㈱等が開発したセンサを活用）を、浸水が想定される地域の水路や道路などに取り付け、浸水状況をリアルタイムに把握する。センサは浸水を自動検知する構造で、職員が直接現場に向かわなくても浸水の有無を把握することができる。

3 実験期間

令和5年6月から約1年間

4 センサ設置箇所

No.	設置場所	設置箇所数	設置基数
1	大垣運河沿い	5 か所	25 基
2	大垣駅周辺	2 か所	20 基
3	市道のアンダーパス	5 か所	10 基

5 設置状況



6 センサ外観

